

【授業者】菊地 博之

1 主題名・教材名・内容項目

【主題名】 「日本の文化」

【教材名】 「ぼくのおべんとう」(光村図書)

【内容項目】 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度

(C 主として集団や社会との関わりに関すること)

2 ねらい

我が国の伝統や文化のよさに気づき, 国を愛し大切にしようとする心情を育てる。

3 目標項目との関連

「読む」ステージ4 (教科につながる基礎的な学習)

c 「支援を得て, 物語文を読み, 登場人物や場面について 理解する。」

4 児童の実態について

本学級は、男10名、女子7名の計17名である。中国にルーツを持つ国際結婚家庭の児童が半数以上を占める。全体的に日本語力は高いが、数名の児童には日本語能力に若干の課題が見られ、特に文章を読み取る力に差があると感じている。配慮を要する児童が、読み取ったことを生かして場面や登場人物の気持ちの変化を理解・イメージするためには、支援の手立てが必要である。

本学級の児童は、全体的に学習に対する意欲が高い。集中力に波があることが課題ではあるが、知的好奇心にあふれ、新しい学習内容に対しても意欲的に取り組む姿勢が見られる。また、多くの児童が考えや思いを積極的に伝えようとする姿勢を身につけており、学習の中では気づいたことを競うように周囲に発信する場面も見られる。

国際結婚家庭の児童の中には、日本での生活経験がほとんどない児童もいて、日本の伝統や文化への知識があまりない様子が見られる。学習活動や児童同士の交流の中で、日本の伝統や文化についての理解を深め、その良さについて考えられるような機会を設定したいと考えている。

5 教材について

アメリカの現地校に転校した「ぼく」は、昼食に「お弁当」を持っていった。ところが、それを見た友達の反応はさまざまで、からかわれて落ち込んでしまう。ある日、母が日本のことを紹介するために学校にきた折に、実際に日本の食べ物を口にした友達の「本当は食べてみたかった。」という本心を知る。日本ではあたりまえに食べている「お弁当」を通して、外国との感じ方の違いに気づいた「ぼく」が、日本のよさを分かってもらいたいと考え、行動する姿に共感できるようにしたい。

我が国には世界に誇れる伝統や文化がたくさんあるが、ふだんはそのよさに気づかないことが多い。中国・大連に住む児童たちにとっては、日本の伝統や文化に親しむ機会が少ないため、本教材を通して学習することはことさらに貴重である。

題材を通して、日本の伝統や文化に対して目を向けると同時に、外国の人々から見た日本を意識させ、中国・大連での生活経験と結びつけることで、多様な価値観を受容的に理解する資質を育成する一つのきっかけにしたいと考えている。また、その上で日本の伝統や文化が持ついろいろな良さに気づき、愛着を感じ大切にしようとする心を育てていきたい。

6 日本語支援について

本単元では、日本語力に課題のある児童に対して、以下の二つの手立てを用意した。

一つ目はロールプレイを取り入れた学習活動である。数名の児童を選出し、登場人物「ぼく」の役割演技に取り組ませる。教師と児童とで場面を実際に演じることで、児童に「日本の良さを知ってもらいたい」という「ぼく」の気持ちをイメージさせ、表情や身振り、感情を込めたセリフなどを引き出すことができるはずである。また、文章を読むだけでは状況をイメージすることが難しい児童は、ロールプレイの様子を見て、場面状況を捉えることができると考えられる。

二つ目は、板書の構造化である。「嬉しい」気持ちや「悲しい」気持ちなど、登場人物の感情の起伏を場面の展開と関連付け、板書を活用して視覚化を行う。日本語力に課題がある児童は、ロールプレイで場面の状況の理解を深め、さらに板書を通して登場人物の気持ちの変化を捉えることができるのではないかと考えている。

上の二つの手立てによる支援の相乗効果により、児童が登場人物に対して共感的に理解を深めることを期待している。

7 授業構成（総時数1時間）

【展開】	【学習活動】	【ポイント】
		○日本語支援の視点 ◆バイカルチュラルの視点
導入	●「お弁当」について振り返り、自身の経験をもとに思ったことを話し合う。	◆日本と外国とでは感じ方に違いがあることに気づかせる
展開	●「ぼくのおべんとう」を読んで話し合う。 ●「ぼく」がおせんべいジョンに勧め、「おいしい。」という言葉聞いた時の心情を考える。 ●身近な生活経験を振り返りつつ、外国（中国）の人に知ってもらいたい日本の良さについて話し合う。 ●ある児童が以前、中国と日本の「立冬」について調べたプリントを紹介し、簡単な交流を行う。	○ロールプレイを活用し、場面の状況を再現して視覚的支援を行うと同時に、登場人物の心情について理解を深めさせる。 ○板書の構造化により、登場人物の気持ち（嬉しい・悲しい）を視覚化させ、児童がイメージを抱きやすいようにする。 ◆地域の行事や習い事など、身近なところから想起して日本のよさについて考え、話し合う。 ◆中国と日本の文化について紹介し、それぞれの違いについて交流する。
終末	●今日の学習を通して日本の文化について考えたことを書く。	◆日本の伝統と文化について、良さに気づけるよう振り返りを行う。

ぼくはどんな気持ちでジンにおせんべいを食べることをすすめたのか、
 まえからかわれたけれど、これなら食べてく
 るかな。

日本の食べ物のお話を聞いては、
 またからかわれるかもしれない。

あなたが外国の人に知ってもらいたい日本のよきにはどんなものがありますか。

いろいろなものを食べてみる。
 ほんのめづりだから。

日本の学校の生活




ぼくのおべんとう

外国の人から見ると、日本のおべんとうはおいしそうに見える。
 外国人 日本人

おべんとうをからかわれた。
 悲しい。せいかくの黒豆を入れたくない。
 ショック。
 日本のおべんとうを持って
 いけない。
 前のサンドイッチにもどきたいと...
 はずかしい。

ぼくはどんな気持ちでジンにおせんべいを
 食べることをすすめたのでしょうか。
 ・パリパリしておいしい。
 ・食べてほしい。おいしさに惹かれて
 ほしい。
 ・日本の食べ物を知らなくてほしい。
 ・自分の好きな物も好きかい
 したい。
 ・からかわれるかもしれない。
 ・次はどんないやなことか
 言われるか。

ジンの
 「おいしい」という言葉

外国の人から見て、
 先生にはめられた。
 みんなよ。てきて見てくれた。
 アメリカの人においしそうに
 見えない。

これくらい
 たまりません
 不安




板書の構造化



日本の食べ物のよさを分かってもらえた時の
気持ちを考える場面（ロールプレイ）

土・日プリントは、1週間のまとめです。ていねいに取り組みましょう。

11月9日(土)	[立冬について]
今年のは	11月8日でした。
来年は	2020年11月1日早くなくて
11月7日です。	
立冬の意味は	はじめて冬の気配
が現れてくる日、	という意味を
す。つまり、	秋ですが、
この冬は	さくなく、
という意味です。	
中国とくに	こちら北方では、
の田んぼで	ぎざぎざを食う
かつかつ	のたんぱく質を
が喜ぶ	家族で食べる
行列で	はまなす。
大連より	毎年集まる
まくなり	すまじ。
ら始まる	は、
中国で	は、

3年 名前 ()

全日本
小学生
書道大会
781111
25歳以下

田	た	今	こん	植	しょく
畑	はた	昔	じやく	物	ぶつ

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

11月 9日 (土)

いまし	野	買	に	母
	ヤ	い	行	と

しりょう 2

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

田	畑	田	畑	田	畑	田	畑	田	畑
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔
今昔今昔今昔今昔

植	物	植	物	植	物
---	---	---	---	---	---

中国と日本の「立冬」について調べたプリント

9 考察

【成果】

- 教師と選出した児童で、ポイントとなる場面のロールプレイを行った。登場人物を演じる琴を通して児童が心情の理解を深める様子、さらに適切に表現する様子が見られた。また、主人公（ぼく）の「勧めたいけど言いづらい」という心情などを児童が適切に表現することにより、読み取りに課題がある児童も場面の状況を捉えることができ、登場人物の心情をイメージすることにつながっていた。
- 板書の構造化により、場面（状況）の様子と、登場人物の心情のアップダウン（悲しい気持ちと嬉しい気持ち）を視覚化し、児童の理解を深めることができた。ロールプレイと合わせて学習を進めることで、より効果的な支援を行うことができた。
- ◆展開の後半部分で「外国（中国）の人に知ってもらいたい日本の良さ」について話し合う活動では、10人ほどの児童の発表をもとに、日本の伝統や文化の良さについて気づき、その具体を交流・共有することができた。また、中国での生活経験を振り返り、日中両国の違いや良さに気づくきっかけにすることができた。
- ◆中国と日本の「立冬」について調べたプリントを紹介する場面では、子どもたちが住んでいる中国の文化と日本の文化を比べる良い機会となった。

【課題】

- 話をするにより、自身の経験を振り返って考えをまとめられる児童が数名いた。活動時間を十分に確保し、必要な児童と対話することがさらに効果的な支援につながったかもしれない。
- ロールプレイでは全員に役割を演じさせることができなかった。なるべくたくさんの児童が主体的に活動に参加できるよう、グループ活動など学習形態の工夫をすればよかった。
- ◆日本での生活経験があまりない児童へは、本教材だけではなく様々な機会に日本の伝統や文化にふれさせる機会が必要であると感じた。学びを継続していくこと、発達段階に合わせて学習を発展させていくことが必要であると考えている。

【まとめ】

ロールプレイは、児童の好奇心や学習意欲を生かせることができ、配慮の必要な児童に適切な支援を行うことができたという意味で、非常に大きな成果があったと考えられる。また、板書の視覚化との相乗効果もあって、児童は場面の状況や登場人物の心情をイメージすることができていた。

本教材自体がバイカルチュラルの資質育成が期待できるものであり、日本の伝統や文化に目を向けさせるだけではなく、中国での生活経験を生かして「外国から見た日本」をイメージさせるきっかけになったと考えている。

最後に、発達段階をふまえた上で機会を見つけ適切に学習を発展させていくこと、次の学年への継続性が今後の課題であると考えている。